

当院で実施される下記の臨床研究はオプトアウトにより実施します。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、これらの研究にご自身の診療情報を使用してほしくない場合は各研究の担当者までお問合せください。

<p>研究課題 (承認番号)</p>	<p>心臓外科術後患者の尿沈渣中にマルベリー小体を認めた1症例</p>
<p>担当科及び研究責任者</p>	<p>検査技術部 林 達矢</p>
<p>利用目的</p>	<p>ファブリー病は X 連鎖遺伝性疾患の先天性代謝異常症の希少疾患である。マルベリー小体はファブリー病に特異的にみられる尿沈渣像であり、渦巻状の脂肪顆粒である。しかし、マルベリー小体は綺麗な渦巻き状だけでなく多彩な形態を示すため発見が困難である。当院では初めて発見され、全国でも多くない症例のため学会発表を行いたい。</p>
<p>研究の対象者及び対象期間</p>	<p>研究の対象者は当院に入院されていた患者様で、学会開催日の令和6年10月27日までを対象期間とする。</p>
<p>研究の方法</p>	<p>該当患者様の診療録より得られる情報と尿沈渣検査・遺伝子検査・αガラクトシダーゼ活性検査結果をまとめ、学会発表を行う。</p>
<p>問合わせ先</p>	<p>代表：048-536-9900</p>
<p>備考</p>	<p>患者様の情報開示は年齢と性別と家族歴、診断名、および尿沈渣検査・遺伝子検査・αガラクトシダーゼ活性検査結果留めるため、個人が特定されるなど患者様への不利益は生じないと思われる。</p>